

駒場リサーチキャンパス公開2023



「連携協定自治体マルシェ」に参加した自治体のゆるキャラたちと
杉山正和所長 ©2010 熊本県くまモン

2つの研究機関がクロスする、 最先端の研究と触れ合う2日間

6月9日（金）、10日（土）の両日、「東大駒場リサーチキャンパス公開2023」が現地と一部オンライン配信のハイブリッド形式で開催されました。2日間で約6,700人の来場者が訪れ、普段なかなか入る機会がない研究室の内部を見学したり、最新の研究成果に触れ合ったりして楽しみました。

オープニングセレモニーでは「デジタルトランスフォーメーション（DX）」をテーマに、生産技術研究所の松浦幹

太教授が「デジタルトランスフォーメーションとディペンドビリティ」、先端研の吉村有司特任准教授が「建築・都市におけるAIとビッグデータの可能性」と題して、それぞれ講演を行いました。

昨年、5自治体に参加して初開催した自治体の物産展「連携協定自治体マルシェ」には、全国12の県市町村が参加。先端研が大切にしている「社会とのつながり」を感じられる催しになりました。

先端研のPVを制作/VTuberも配信

杉山所長のメッセージとともに先端研の研究と活動を紹介する約3分半のプロモーションビデオが完成しました。緑豊かな美しいキャンパスの映像や、趣向を凝らした各研究室のイベントの雰囲気味わえます。

また、2人組の学術系VTuberアイドルユニット「Holographic」がキャンパス公開の初日を見学し、体験を振り返ったアーカイブ動画を制作しました。学術系VTuberならではの視点と2人の楽しい掛け合いも見どころです。

動画は先端研のHPで公開予定です。



プロモーションビデオ
(動画より)

東大先端研公開2023
行ってきました実況
アーカイブ(動画より)



Research Report

キャンパス公開での各研究室の取り組みをご紹介します。

科学実験室の バリアフリー化の取り組み

インクルーシブデザイン
ラボラトリーでは、障害
のある学生が研究に参加
できるように設計された
実験の支援機器や車いす
でも利用可能な流し台な
どを紹介



同位体から紐解く地球環境の 過去・現在・未来

角野研究室の研究キ
ワードである同位体と、
その分析技術「質量分
析」「振動分光分析」に
ついて紹介。研究対象の
鉱物や隕石なども顕微鏡
で観察できた



計算物質科学への誘い

物質の多様な性質や機能
をシミュレーションし、
予言、設計することに取
り組んでいる有田研究室
では、計算物質科学の最
前線をポスターで展示



体験して想像する身体の未来

視覚や触覚などの感覚の
理解に基づいた錯覚やデ
バイスなど、デモンスト
レーションを通じて研究
成果を紹介した稲見・門
内研究室



大学発・外交安全保障シンクタンクの挑戦： 東大先端研ROLESと 慶應KGRIの競争と協業

グローバルセキュリティ・
宗教分野が設立・運営す
るROLESと、慶應義塾大
学グローバルリサーチイン
スティテュートが設立した
「戦略構想センター(KCS)」
との講演イベントを実施



mRNA医薬を知る： 核酸と先端医薬学

システム生物医学ラボラ
トリー主催でmRNA医薬
を担う日本のトップの研
究者たちが講演。核酸の
先端医薬学の進歩を俯瞰
した



主要イベントの 情報保証について

今年のキャンパス公開では、ENEOSホールと4号館2階講堂の計4つのイベントに、聴覚障害のある方に対する情報保障としてUDトークを使った文字通訳と手話通訳がつけました。実施にあたっては当事者研究分野の熊谷研究室に支援いただきました。

担当者からのコメント

今年のキャンパス公開では、キャンパス公開WGから主要イベントの主催者に文字・手話通訳の用意を打診するという新たな試みを行いました。初めての試みだったため今回は聴覚障害に対する情報保障が中心となりましたが、今後はさらに多様な支援を増やしていけると良いと思います。色々と課題や改善すべき点が多くありましたが、この取り組みを継続していくことで全ての方が楽しめるようなキャンパス公開が実現できることを願っています。

(当事者研究分野 特任助教 辻田 匡葵)



若手研究者主催

「しくじり研究者 私みたいになるな?!」

メインスクリーンの右側に、手話通訳者と字幕用スクリーンを配置。UDトークによって自動で生成された文章の誤りを修正するスタッフもついた